
寸鉄殺人“ペリルポイント”、麻帆良にて

蠅の魔王

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

寸鉄殺人“ペリルポイント”、麻帆良にて

【Nコード】

N8067Z

【作者名】

蠅の魔王

【あらすじ】

転生に興味があつた少年は、神の悪ふざけで作つたサイトをクリックしてしまった。

神の娘という女神から授かった、珍しいあるチート能力で半ば流されながら原作介入を開始する。

…という感じのテンプレです。

キャラ崩壊、原作破壊、ご都合主義、オリ主最強等が含まれます。

プロローグ（前書き）

転生に興味があった少年は、神の悪ふざけで作ったサイトをクリックしてしまった。

神の娘という女神から授かった、珍しいあるチート能力で半ば流されながら原作介入を開始する。

…という感じのテンプレです。

キャラ崩壊、原作破壊、ご都合主義、オリ主最強等が含まれます。

ブログ

どうも、皆さんおはこんばんちわ。

あれ？声が小さいぞ？さあもう一度、おはこんばんちわー！！
え？ふざけたくも、もとい現実逃避したくなりますよ。

だって、真っ白い空間にいつのまにかいて、目の前に土下座する爺ジジイと頭下げてる美人がいるんですよ。

はて、なんでこんな事になってるのやら、とりあえず、布団に潜ったのは覚えているんですよ。
では、原因は寝る前？少し思い返してみよう。

っ、その前に自己紹介を。

どうも俺はアニメ、漫画、ラノベが大好きなオタク少年の高校生、葵 翔と申します。

…言ってて空しくなるね、こりゃ。

まあ、気を取り直して、確か寝る前は日課の二次創作漁りしてて…

……あ！？もしかしてあの怪しいサイトか？

く回想く

「ふゝ、新作はなし、目ぼしい作品の更新も確認済みっど。」
そう言いながら俺はパソコンの電源を落とそうとする。

すると、勝手に新しいウィンドウが開き、どう見ても個人サイト見

たいのが出てくる。

「む？何々…【転生しゅみれーたー】って片仮名にしとけよ。」

何やら“転生後の容姿”やら“欲しいチート能力”やら書いてあるな…

ん？転生先はランダムです。能力の数もこのサイトを開いた際、ランダムで決まります。…と。

「凝ってんな〜、てか俺能力一個かよ。運悪いな〜。」

ふむ、恐らく悪ふざけだと思うが…たとえ今死んでも親は死んでて、友達もいない。悔いはないな。

てか、寂しいな俺。まあいいか。

「ふむふむ、まず容姿は…『境界線上のホライゾンのトゥーサン・ネシンバラ』、と」

あいつ、結構好きなんだよな〜中二だけど。イケメンだけど。嫁持ちだけど。

「能力は…普通『ゲート・オブ・バビロン王の財宝』とか『アンリミテッド・ブレード・ワークス無限の剣製』とか『直死の魔眼』だろうけど…」

普通では面白くない！ここはネタで行ってみるか…

「『ペリルポイント寸鉄殺人』、と」

いや、良くね！？なんだって“零崎最強の男”の二つ名だよ。

それに、二つ名を入れれば、身体能力とかも手に入りそうだし…。

「んじゃ、『決定』と。」

『決定』の部分をクリックすると、勝手にパソコンの電源が落ちる。こりゃ、期待できるかも。

そうして俺は布団に潜るのだった。

く回想 終わりく

…本当^{マジ}だったのかあ…。

と。んじゃ、この爺と別嬪さんは…

「あのく、説明お願いできますか。」

そう聞くと女の人が早口で説明してくれた。

「本当、すいませんでした。何か家の馬鹿親爺が最近流行ってるからって適当に見つけたあなたを殺して漫画の世界に転生させようとしたんです……。あたしが見つけた時には、既にあなを殺して輪廻の輪から絶対神権限で魂をここに持ってきてしまっで……。

」

この爺、絶対神か……。てか、流行ってんのかよ、二次転生。

「あの……。何か……。すいませんでした……。」

てかこの爺泣いてるし。やはり女は強し、か。

「あの、顔上げてください。別に怒ってないんで。」

逆に嬉しいよ、転生できるし、美人さんと会えたし。

「／／ま。」

あれ、女神さん顔赤くしてんだけど……。え、もしかして

「すいません。一応神なので……。ありがとうございます。／／／

Nooo! ナンテコッタ。

「／／／あの……。それで、もう転生するしかないのですが……。大丈夫ですか？」

「ああ、大丈夫です。やはり、あの質問の内容で？」

「はい、もうすでにコレが扉を開いてしまっていて・・・私はコレほど権限がないので・・・」

うわ、コレ扱いだよ、この爺。

「あの・・・何か・・・すいませんでした・・・」

てか、ずっと言い続けてないか？目が虚ろだし・・・。

まあ、とりあえず、あの扉を通ればいいのだろう。

「あの、それじゃあ行ってきます。」

「はい。お気をつけて。私の権限でできる分だけオマケしておきますので。」

その言葉を背中に受けながら、俺は扉をくぐり、くぐった瞬間、意識を失ったのだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8067z/>

寸鉄殺人“ペリルポイント”、麻帆良にて

2011年12月25日20時54分発行